

日本あちこち河川遡行記（第295回）

大阪2-2. 西除川（その1）後半 令和1年10月17日（木）曇り

〔続き〕

「みどり橋」を渡り再び左岸側を戻り進むと堺市から松原市に入る。すぐの橋際から遊歩道となり出迎えてくれる。ありがたや、ありがたや！松原市内の川沿いの遊歩道の絵地図も入り口に掲げられている。川の土手道はこうでなくっちゃ。



11.松原市に入ると遊歩道が現れる



12.松原市内の西除川には遊歩道が付いている

車の来ない遊歩道に入り対岸側を見ると大量の水が川に流れ落ちている。は一ん、市境なので松原市の下水処理場の処理水を川に流しているのだな。市境はこれを見ると分かるようになる。

遊歩道下の市道には松原市の蓋が見えるので下に降りカシャ。ここも市の花と木でちこちゃん風に言うとな「つまらん奴だなー」になるが、松と薔薇を詠み続けると「松薔薇」になり、やりはりまん！。



13.堺、松原市境の下水処理場から大量の処理水が



14.松原市は松と薔薇

遊歩道に車が来ないのは助かるが座れるベンチと屋根、トイレは無く土手の遊歩道のランクとしてはCクラスである。松原市は名前は知っているが当方にとっては影の薄い特色の無い市である。

川は東からの流れが南からとなり、以後これを繰り返していく。10番目の橋府道187号の「堀桜橋」は黒御影石に金色の橋名が彫りこまれている。大阪府の橋を診て行くと全ての橋の親柱には国の決めた「橋名(漢字)」、「橋名(ひらがな)」、「河川名」、「完成時期」の全てが四隅に記入されおり、橋名すら無い奈良県とは大違いで、この差は橋の管理状況にも現れている。名は態を表すだ。



15.橋の名前も柱の絵も品が有るなー

杖を取り出しゆっくりと歩きを続ける。今日は足の調子に合わせた距離の違う6案を考えてきている。最短の近鉄南大阪線の「布忍駅」の近くを通過する。第1案はパスして続ける。左岸側には「布忍神社」が現れ、川を越える橋の名は「宮橋」で桁と高欄が同じ薄い朱色に揃えている。この組み合わせの宮橋は初めてである。



16.「布忍神社」はこの辺りでは有名だ
だ



17.「宮橋」の桁と高欄はお揃いの色だ

近鉄線はこの辺りで直角に曲がる。道明寺付近とここで不自然な急な直角曲がりをしている。路線計画を短期間で修正したのが目に浮かぶぞ。

府道12号の「新布忍橋」を越えると橋際に大きな石碑が有る。「西除川改修記念碑」と彫られ、裏側には昭和57年に起こった豪雨水害とその後の川の改修についての説明がある。ここまでの川は深い水路状で護岸もしっかりと固められていたので、やっぱいそうか！である。



18.有りました。川改修の記念碑が



19.西除川は昭和57年の豪雨災害のあと改修された

河内平野の北側の寝屋川一党は河川勾配が殆どなく川らしくなかったが、南河内の川は緩やかな縦断が有り川らしい趣がある。



20.弓なりになる川面を創る構造だ

川幅は20m前後で、鋼橋、PC橋のどの橋も単径間で桁下空間を確保するため桁の中央部の高さに対し両端部の高さを低くしたミニ太鼓橋になっている。単径間の橋桁の中央部には大きな力（曲げ引張応力）が働くが、桁端部に引張力は生ぜず垂直方向の力だけになるので桁高を低く出来るので合理的な構造である。



21.この川の橋は殆どがミニ太鼓橋にしている

松原市から再び堺市北区に入るとニューファッションの蓋が顔を出している。堺市が美原町を吸収合併して政令指定都市になった記念のデザインで最新版である。南蛮貿易が盛んだった堺らしい絵柄である。



22.堺市の特別バージョンは南蛮船

遊歩道は無くなるが普通の細い土手道は続いている。車が通れない区間では道沿いにいろいろな植物が植えられている。これからが収穫時の青いレモンも有る。道には芝が貼られふわふわの道を進む。足に優しく目にも優しい小道である。



23.歩道沿いになんとレモンが有るぞ



24.ふわふわの絨毯の上を歩く

中央環状線は横断できないので大きく迂回して土手に戻るとここからは堺市美原区となる。堺市には東西南北、中と堺の各区があり、美原区も特別に旧町名をそのまま区名にしている。人口4万人弱の美原が参加しなければ堺は政令市になれなかったのが特別扱いだ。同じ政令市の岡山市が中、東、北、南の4区に対し堺市は7区も有る。

市道の「今井新橋」は橋の東側で道が二股になっている。橋の上が交差点だ。これは珍百景なのでカシャ。



25.橋の上で道が分かれている

第2案の竹内街道に在る「岡町」バス停から帰路につく案もパスして南に進む。今井南新橋まで来た所で第3案の「今井南」バス停に向かう。この後は第4案の「大井」バス停、第5案の「北余部」バス停、さらに彼方の南海高野線「北野田」駅まで歩く第6案まで用意しておいたが第3案で終わりとする。

橋からお寺の長い塀が続く道を東に200mほど進みバス停に着く。15分ほど待って高野線「初芝」駅行き南海バスの小型バスに乗車。見た目はコミバスである。

初芝駅から難波まで乗り階段を降りると、頭上に特急こうやの前のホームに

お揃いのユニホームを着たお坊さんがズラリと並んでいる。前回はケーブルカー駅で階段状に並んでおられたな。赤い車体に鮮やかなブルーの衣装の対比が素晴らしい。という訳でカシャ。

新大阪駅でこだまに乗ると隣の 21 番線に修学旅行専用列車が入線し、目の前はグリーン車である。抽選でグリーン車を引き当てたクラスは最高だろう。



26. 今度は特急の前にお坊さんがズラリと並んではる

27. グリーン車に当たったクラスは良いなー

本日の歩行距離：8.6km。調査した橋の数：30。

総歩行距離：10,631.5km。総調査橋数：13,730。

使用した 1/25,000 地形図：「大阪東南部」（和歌山 5 号-3）、「古市」（和歌山 5 号-4）